

2026衆院選 立候補予定者 政策アンケート (RBC・琉球放送)

新垣邦男 1956年6月19日生まれ 北中城村出身
1975年 県立名護高校卒業
1982年 日本大学法学部卒業
1985年に北中城村に採用
2004年に北中城村長に初当選し4期務める
2021年に衆議院議員に初当選し2期務める

玉城県政の支持 ☒ 支持する / ☐ 支持しない

政府・自民党の圧力に屈せず、平和で豊かな沖縄の未来に向けて取り組んでいる。誰一人とり残さない優しい社会を目指し、子どもの貧困対策、ヤングケアラー調査、若年妊産婦支援など、県内で深刻な社会問題の解決に努力している。辺野古新基地反対、爆音、PFAS、米兵による性犯罪を含む事件・事故など基地被害対策にも真摯に向き合っている。沖縄の現状を全国キャラバンで世論に訴えかけ、地域外交にも率先して取り組んでいる。

高市政権の支持 ☐ 支持する / ☒ 支持しない

円安・物価高対策を放棄して、ご都合主義で解散を強行。対中強硬をアピールするため従来の政府答弁を踏み越えて「存立危機事態」発言を行い、日中外交を破壊し、経済にダメージを与えた。戦争を準備する防衛費増、非核三原則見直しなど安保三文書改定、財政規律を無視した経済政策、復古的な家族観・国家観による多様性否定や外国人ヘイトなど、「新たな国造りを進めてよいか問う」と、右傾化政策に白紙委任させようとしている。

今回の選挙戦の最大の争点は何ですか。

高市政権を退陣に追い込まなければならない。分断を煽る極端な政治が台頭する風潮のなか、首相はご都合主義的な解散・総選挙で、これまで国民に説明してこなかった今後の右傾化政策に白紙委任させようとしている。「生活者ファースト」を原点に据えた新しい政治を国民に訴え、自民党政治に終止符を打つ選挙だ。「ウチナーの未来はウチナーンチュが決める!」、沖縄の課題を国会で解決する。私の基地問題への姿勢は絶対にブレない。

最も重視する政策について選択肢から1つ選んでください。

☒ ①経済・雇用 ☐ ②米軍基地問題 ☐ ③安保政策・自衛隊配備 ☐ ④医療・福祉 ☐ ⑤教育・子育て ☐ ⑥沖縄振興計画 ☐ ⑦その他

今年の秋から恒久的に食料品消費税ゼロ、現役世代の社会保険料を引き下げ、奨学金返済額の一部を所得控除する。市町村横断型コミュニティバスを実現する。店舗など防音工事の対象を拡大する。医療・介護・保育・障がい福祉などの給料を引き上げ、すべての人が人間らしく生きるため必要な現物(ベーシック・サービス)の質・量を拡充。安心の年金制度を整備。子どもの貧困解消。ひとり親、若年妊産婦、ヤングケアラーを支援。

普天間基地の辺野古移設計画についての政治姿勢を以下の選択肢から選んでください。

☐ ①推進 ☐ ②容認 ☒ ③反対

辺野古反対は県民投票で示された民意だ。2兆5500億円を超えるという巨額の税金を浪費し、技術的にも不可能な埋め立て工事で、ご遺骨が混じる可能性のある南部土砂を利用するなどの新基地計画は許されない。政府は「辺野古は唯一の解決策」を口実に、普天間の危険性除去を放置している。仮に県内移設されても、爆音や事件・事故などの基地負担の軽減にはならない。米軍の戦略も変遷している。政府は県と真摯に話し合うべきだ。

南西地域の防衛力強化についての政治姿勢を、以下の選択肢から選んでください。

☐ ①推進 ☐ ②容認 ☒ ③反対

住民合意のない基地建設、ミサイル配備計画で、住民が分断されている。政府は有事に先島全住民12万人を「島外避難」させる計画を進めている。全財産を放棄させ、手荷物1つで九州・山口へ避難を強制する。憲法が保障する居住移転の自由や財産権を侵害する。軍事拠点設けるために住民を立ち退かせることが優先され、住民の安全は後回しだ。本土防衛の捨て石として、島々が戦場とされかねない。外交による緊張緩和を図るべきだ。